

自然・人・文化を繋ぐ

東三河・遠州・南信州
ガイドブック

三遠南信

san-en-nanshin GuideBook



三遠南信に秘められた 魅力を訪ねて



三遠南信地域の奥深さ

愛知県東部の東三河地域を「三」、静岡県西部の遠州地域を「遠」、長野県南部の南信州地域を「南信」とした3県の県境にまたがる三遠南信地域は、日本の屋根と呼ばれる中央・南アルプスをはじめ、悠然と流れる大河や風光明媚な湖、美しい海岸線を持つ太平洋沿岸部など、標高差3,000mの中に日本の様々な地形が凝縮された地域です。

古くからこの地域では、「東海道」や「東山道」、塩の道と呼ばれる「秋葉街道」など、東西を結び、南北に繋がる街道と「天竜川・豊川の水運」を介して、人々が行き交い、物流や文化的交流が盛んに行われてきました。

今もここには、古より受け継がれてきた民俗芸能の「花祭り」や地域固有の伝統漁法「たきや漁」、また気候風土が育んだ郷土食「市田柿」などの多種多様な地域資源が存在し、固有の文化が息づいています。三遠南信の地域資源を大胆なテーマでくくり、その上で地域資源を再編集すると、これまで隠れていた三遠南信の固有の姿が浮かんできます。このガイドブックは、これまではあまり知られていなかった地域資源に注目し、三遠南信の魅力と奥深さをご紹介します。

contents

三遠南信の今昔 4

街道浪漫 古の街道で繋ぐ三遠南信 8

三遠南信 豊かに蘇る 日本の文化 10

標高差3,000mの多様性 16

・標高差を活かした山上げ農業 17

・三遠南信の「技」 18
～歴史を伝える伝統工芸～

・山・川・海が織り成す三遠南信食材御膳 20

・素材を活かして三遠南信逸品館 22

・うまいもんめっけ 24
～三遠南信B級グルメ選手権～

とっておきの三遠南信 26

～知られざる三遠南信の魅力～

・東三河の巻 27

・遠州の巻 30

・南信州の巻 33

三遠南信地域イベントカレンダー 祭・催事 36

アクセスガイド 37

観光インフォメーション お問い合わせ先 38

三遠南信地域が目指す姿 39



三遠南信の

今日

交易が盛んな時代

日本列島を東西に走る幹線道路の旧東海道や旧中山道などに対して、日本海と太平洋を結ぶ南北軸の一つとしてよく知られているのが「塩の道」です。地域によって千国街道・松本街道・信州街道・秋葉街道・三州街道などの街道は、古代は黒曜石の道として、中世や近代には物流・信仰の道として、また戦国武将が通った道として知られ、物資輸送に限らず、人々の交流や芸能などの文化伝播の重要な役割も果たしてきました。かつて三遠南信地域で盛んに行われた交易は、こうした道を介して行き交う人々が積み重ねた歴史の中ではぐくまれてきました。

三遠南信地域を縦断する「塩の道」

秋葉街道（別名信州街道）は、天竜川と並行して走る国道152号とほぼ重なり、遠州の浜松から信州の諏訪を結ぶ街道として知られています。この秋葉街道は、秋葉神社と諏訪神社を結んだ信仰の道で、塩のない信濃国に相良（現牧之原市）の塩を運んだことから「塩の道」と呼ばれています。

また、吉田（現豊橋市）からも遠州街道（現在の国道151号）や三州街道を使って信州の塩尻まで三河の塩が運ばれたことから、これらの街道も「塩の道」と呼ばれています。

太平洋沿岸で取れた塩は俵に詰められ、馬の背に乗せて運ばれましたが、山間部の境目で一旦降ろされて、険しい峠越えに備え小ぶりの俵に詰め替えられ、再び馬の背に乗せて峠を越えたといわれています。

この三遠南信地域には、「塩」という命の源を運んだ重要な道が今も残されています。



大正～昭和初期 豊橋 広小路大通り



昭和44年 豊橋駅前



明治中期 とよばし



昭和30年代初め 浜松

廃藩置県によるその後の三遠南信地域

江戸幕府を倒して樹立された新政権の明治政府は、版籍奉還を行い、明治4年(1871)廃藩置県を断行しました。これによって全国で300ほどあった藩が一挙に消滅し、それに変わって県が置かれることになりました。この三遠南信地域には、静岡県・堀江県(後の浜松県)、豊橋県、半原県、田原県、高遠県、飯田県などが置かれましたが、県の数はその後変動し、現在の3県の形(愛知県・静岡県・長野県)に落ち着いたのは5年後の明治9年のことでした。

この廃藩置県により失業した武士たちの救済事業として行われたのが、牧之原台地の開拓で、ここには茶畑が造成され今日まで続いています。

天竜川の舟運が、本格的に活躍するのは明治になってからで、王子製紙の気田工場や中部工場から「紙舟」が、久根、峰之沢、鉦山の「鉦石舟」が、風に帆を膨らませて川を上り下りしたといわれています。大正から昭和初期にはより多くの舟が往来し、

プロペラを使った舟も使われるなど、大量の物資が往来し活発な交流が行われたことが分かります。

また、戦国時代には今川義元や武田信玄の領土に組み込まれたこともあって、東三河地域は歴史的に遠州や南信州(伊那地方)との繋がりが深く、とくに遠州地域とは非常に強い繋がりの関係にありました。とくに飯田線が開通すると、交流は一層活発になりました。この三遠南信地域は歴史上からも交流を深める条件を持っていたということがいえます。



帆掛け舟

写真左<提供:藤井武義氏>
写真右上<提供:朝倉洋一氏>
写真右中<提供:小久保敏夫氏>

明治以降の 産業の立地・集積の時代

三遠南信地域の産業発展の歴史は、天竜川・豊川の2本の大河とともに歩んできました。河川の利用方法は、古くは舟運や筏流しが主流でしたが、明治以降はエネルギーの生産に比重が移り、小規模ではありますが水力発電所が2大河川の水系各所に建設されました。この電気事業の開始によって、豊川鉄道・鳳来寺鉄道・三信鉄道・伊那電気鉄道などの電気鉄道が施設され、昭和18年(1943)には、これらの4私鉄を統合し国有化することで、この地域の動脈ともいえる飯田線が開通しました。これによって3地域の交流は一層発展し、電源開発のための鉄道が施設され、戦後には佐久間発電所と佐久間ダムが建設されています。さらに下流域では大規模な灌漑用水が作られ、農業の発展に寄与するなど、この事業が果たした役割は大きなものがあります。

明治政府が養蚕業を奨励したこともあって、三遠南信地域では、明治から昭和にかけて養蚕製糸が盛んに行われていたことも

忘れてはなりません。養蚕製糸業は現在衰退してしまいましたが、豊橋の玉糸製糸は昭和30年代には全国の3分の1を生産するほどの活況を呈していました。

現在、東三河地域は、平成9年に豊橋港・蒲郡港・田原港が一本化され、国際貿易港「三河港」が誕生したのを始め、豊橋駅の再開発や複合マリリゾート施設「ラグーナ蒲郡」の建設など着々と都市整備を進めてきています。

また、南信州地域は、飯田市を中心に人形劇や豊かな自然や風土を活かした観光や、エコツーリズムの拠点としてモデル地区に指定されるなど、新たな道を切り開きつつあります。

遠州地域は、明治22年(1889)に東海道線が開通すると、浜松には綿織物工業と楽器工場が多く集まるようになりました。戦後は東海道新幹線や東名高速道路が建設され、この地域は東海地方の農業と工業の要衝として発展し、昭和59年に浜松地域テクノポリス計画が承認されました。浜松市は平成19年には政令指定都市の仲間入りを果たしています。



1900年(明治33年)頃の玉糸製糸糸徳工場内部(豊橋)

明治29年7月 帝国製帽株式会社(浜松市砂山町)



昭和5年 東洋紡 浜松工場



大正3年 鈴木自動車工業株式会社



昭和初期の飯田

三遠南信自動車道が繋ぐ…
古代からあった地域の交流
をもっと身近に。

三遠南信自動車道は、飯田市と浜松市北区を結ぶ延長約一〇〇kmの高規格幹線道路で、一般国道四七四号の自動車専用道路として計画され、全線早期開通を目指し着実な整備が進んでいます。完成すれば南信州と東三河・遠州地域との時間距離を大幅に短縮するため、新たな観光資源の活用・産業の進展・過疎地域の振興など、県境を越えた広域的な経済・文化圏の形成に大きく寄与することが期待されています。

三遠南信地域の交流の歴史は古く縄文時代にまでさかのぼると言われています。「塩の道」(塩や生糸の流通)、「秋葉街道」(秋葉神社の信仰)、天竜川の水運をはじめ、江戸時代には馬連業「中馬交通」が物流の飛躍的な拡大をもたらした地域の発展に大きな役割を果たしました。しかし、近代になると自動車交通を支える道路整備の遅れや行政区の違いが障壁となり、地域間の交流は次第に緊密さが薄まってきました。そこで近年、昔のような活気ある交流を復活させ、新たな圏域を創造しようという気運が高まり、かつての秋葉街道や天竜川に代わって三遠南信自動車道の開通に大きな期待が寄せられています。

写真上:参考文献「がんばろうね 豊橋が輝くとき」(出典:豊橋市)
写真中左:人物史(昭和10年11月発行)、写真中右:四十年史(昭和35年5月発行)
写真下右:下伊那20世紀年表(平成8年・下伊那20世紀年表刊行会・株式会社新業社)



新居関所

国特別史跡。正式には「今切関所」といい、慶長5年に設置された。全国で唯一現存する関所建物。

御油の松並木

御油宿西端から赤坂宿東端までの約600メートル(275本)にわたり、樹齢300年以上の松が多く残った松並木。東海道中膝栗毛の中で、弥次さん喜多さんがキツネに化かされたという場所。



旅籠・大橋屋(東海道 赤坂宿)

1715～16年(正徳5～6)頃の建築で、旧屋号を鯉屋と称す。間口9間、奥行き23間ほどの大旅籠であり、広重の描いた浮世絵の面影を色濃く残している。東海道筋で唯一現在も営業を続けている旅籠。

所 豊川市赤坂町紅里127 ☎0533-87-2450



小川路峠(秋葉街道)

飯田市千代と遠山上村を結ぶ峠。秋葉街道の脇道の一つとして、峠を越えた先は飯田市松尾で中馬街道と交わる。小川路峠は標高1645メートルの峠。



大鹿村大河原地区(秋葉街道)

東山道

東海道と並び延喜の官道(古代の7つの道)の一つであり、当時の奥羽開拓のための重要な交通路であった。現在の中央自動車道の神坂パーキングエリア付近から、阿智村を通り天竜川を遡上するルート。全国に多くある街道の中でも、唯一原型らしきものをとどめている。

街道浪漫 Highway romance

古の街道で繋ぐ三遠南信

浜松市北区三ヶ日町(姫街道本坂峠)

江戸時代の東海道の脇街道の一つ。当時のメインストリートには、峠や川越えなどの難所、厳しい関所があった。

街道と宿場

歌川広重画 東海道五十三次

東海道 遠州から東三河地域には袋井・見付・浜松・舞阪・新居・白須賀・二川・吉田・御油・赤坂などに宿場が設けられ、江戸や京、大坂の物資や人、文化の交流に大きな役割を果たした。

姫街道 東海道の見付宿から浜名湖の北側を通り本坂峠を越えて御油へ抜ける東海道の脇街道。新居宿は取り締まりが厳しいことで知られ、それを嫌った女性が多く利用したことから、姫街道の名がついたといわれている。

秋葉街道 三州街道飯田八幡宿を基点として、遠山郷を経て火の神さま秋葉神社の参拝に使った信仰の道であった。遠信古道は縄文時代からの塩の道といわれる。

三州街道 秋葉街道と並ぶ太平洋側の「塩の道」として有名。江戸時代には通商の道として盛んに利用された。東海道の岡崎宿から三河足助を經由して飯田から伊那谷を抜けて中山道の塩尻宿とを結んでいた。別名伊那街道、飯田街道、中馬街道ともいわれる。



秋葉の火まつり

秋葉神社・秋葉寺で行われる伝統の火祭り。浜松市春野町の秋葉山(標高866メートル)は、古代から信者がこの山を目指し、その道が「秋葉街道」と呼ばれ、今も県内外から多くの参詣者を集めている。

- 所 静岡県浜松市天竜区春野町領家地内
- 時 12月
- ☎ 秋葉山本宮秋葉神社 053-985-0111



東栄町



豊根村

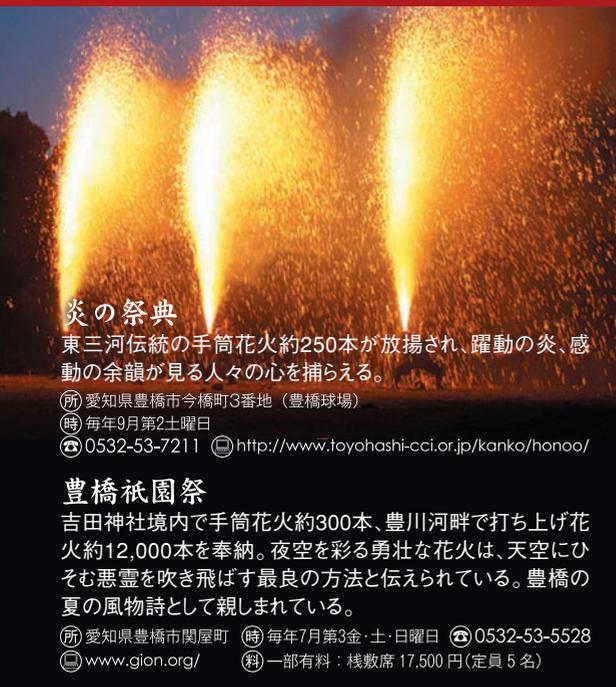
花祭り(東栄町)(豊根村)

【東栄町】国の重要無形民俗文化財。鎌倉・室町時代に山伏や修験者によって伝えられ、700年にわたり伝承されてきた、生命の復活を祈る神事。11月～3月にかけて町内11か所で開催される。

【豊根村】重要無形民俗文化財。舞庭(まいど)と呼ばれる土間で、祓い清めの儀式から湯ばやしなどの激しい舞を夜を徹して行う。中央には大きな釜で湯を沸かし、天井には湯蓋、四方に「ざげち」と呼ばれる切り紙の飾りをつるす。

- 所 愛知県北設楽郡東栄町
- 時 11月～3月までの期間数回
- 所 愛知県北設楽郡豊根村
- 時 11月～1月
- ☎ 0536-851161 豊根村教育委員会
- http://www.willtoyone-ochi.jp/
- 2kenkou/1_maturio.html

三遠南信 Traditional entertainment 豊かに蘇る日本の文化



炎の祭典

東三河伝統の手筒花火約250本が放揚され、躍動の炎、感動の余韻が見る人々の心を捕らえる。

- 所 愛知県豊橋市今橋町3番地(豊橋球場)
- 時 毎年9月第2土曜日
- ☎ 0532-53-7211
- http://www.toyohashi-cci.or.jp/kanko/honoo/

豊橋祇園祭

吉田神社境内で手筒花火約300本、豊川河畔で打ち上げ花火約12,000本を奉納。夜空を彩る勇壮な花火は、天空にひそむ悪霊を吹き飛ばす最良の方法と伝えられている。豊橋の夏の風物詩として親しまれている。

- 所 愛知県豊橋市関屋町
- 時 毎年7月第3金・土・日曜日
- ☎ 0532-53-5528
- www.gion.org/
- 料 一部有料: 棧敷席 17,500円(定員5名)

手筒花火

東三河地方発祥の花火で、五穀豊穡、無病息災、家運隆盛、武運長久を祈り受け継がれた手筒花火は奉納者自らがその製造から放揚までの全工程を手作りで行う数ある花火の中でも特異な東三河の伝承文化。

- 所 東三河各地
- 時 4月から10月。詳しい日時はホームページでご確認ください。
- ☎ 0532-54-1484
- http://www.honokuni.or.jp/



花祭会館

花祭りの面・衣装・祭具・古文書の展示や、映像資料を用いてわかりやすく紹介する施設です。

- ☎ 0536-76-1266
- 所 東栄町本郷
- 時 9:30~16:30
- 休館日: 月曜日、年末年始
- 料 300円



花まつりの館

地元NPOが廃校を利用して「花祭り」の貴重な映像や祭具を展示しています。写真展では、竹内敏信氏の「花祭」の作品をご覧いただけます。

- ☎ 0536-79-3787
- 所 東栄町大字御園
- http://hanamatsurinoyakata.com/
- 時 12:00~16:00
- 休館日: 水・木曜日、年末年始
- 料 300円



遠山霜月まつり

霜月神楽。両部神道による湯立祭りで、清和天皇の貞観年中に宮廷で行われていた催事を模した湯立が、ほぼ原型のまま伝承されているといわれている。国の重要無形文化財に指定。

- 所 長野県飯田市上村・南信濃
- 時 12月上旬~中旬
- ☎ 0260-36-2211(上村) 0260-34-1071(南信濃)
- http://www.tohyamao.com/simotuki/



天龍村の霜月神楽

天龍村の向方(むかがた)、坂部(さかべ)、大河内(おおこうち)の各地区で行われる祭りを総称して、天龍村霜月神楽という。国の重要無形民俗文化財に指定される。

- 所 長野県下伊那郡龍村坂部・向方・大河内・中井侍
- 時 1月3日~6日

西浦の田楽

国指定重要無形民俗文化財。
行事はすべて旧暦でおこなわれ、初日は旧一月一日に別当が正月の“男木飾り”を庭に飾ることからはじまります。

所 静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家
時 旧暦 1月 18日・19日



大雪(豊年)を願う祭り、伊豆神社境内でとりおこなわれる。田楽(でんがく)、舞楽、神楽(かぐら)、猿楽(さるがく)、田遊びなどの日本の芸能絵巻が徹夜で繰り広げられ、能や狂言などの伝統芸能の原点とも言われる。



「山村の田楽・平地の田楽」
伝統芸能として知られる田楽ですが、山村の田楽と平地の田楽では、かなり形態が異なります。平地の田楽は、予祝の神事(豊作の前祝い)として田植えから収穫までの農作業を模倣的に踊る「田遊び」に由来するのに対し、「新野の雪祭り」や「西浦田楽」のような山村の田楽は、厳しい環境の中、米の収穫に対する願望を強調し、神々を勧請する神事芸能神楽の複合型です。このように地域の中に異なるルーツを持つ田楽が存在するのは、三遠南信地域ならではの特色といえます。



田峯田楽

重要無形民俗文化財。
三河三観音の一つである田峯観音に伝わる民俗芸能。昼・夜・朝田楽からなり、1年の農作業のあらましを模倣的に行い、夜半まで盛大に繰り広げられる。



所 愛知県北設楽郡設楽町田峯字手籠前 時 毎年 2月 11日
☎ 0536-62-1000 ㊟ <http://www.honokuni.or.jp/contents/route/junrei/damine.html>



黒倉田楽

例年2月に黒倉神社で実施。「氏神の祭」、「田楽祭」と分けて行われる。

所 愛知県北設楽郡設楽町平山
時 2月 第3日曜日

黒沢田楽

三河3田楽の一つ。村の繁栄と悪霊鎮魂、五穀豊穡(ほうじょう)を祈って奉納する。

所 愛知県新城市七郷一色字黒沢 時 2月 第1日曜日

寺野のひよんどり

国指定重要無形民俗文化財。
松明の火を乱打する鬼の舞が豪快。

所 静岡県浜松市北区引佐町茨川377(宝蔵寺観音堂)
時 毎年 1月 3日

川名のひよんどり

国指定重要無形民俗文化財。
大松明と若者のもみあい豪壮。

所 静岡県浜松市北区引佐町川名382-1(福満寺薬師堂)
時 毎年 1月 4日



小國神社の十二段舞楽

天寶元年、勅使が奉幣したときに舞ったのが始まりだと伝えられています。江戸時代には鈴木左近家が代々指南役として裁量し、現在は「遠江国一宮小國神社古式舞楽保存会」が保存伝承に努めています。昭和57年文化庁より「重要無形民俗文化財」に指定されました。

所 静岡県周智郡森町一宮3956-1 時 毎年 4月 18日に近い土日
☎ 0538-89-7302 ㊟ <http://www.okuninjinja.or.jp/event/bugaku/index.html>

遠州大念仏

三方原合戦の戦死者の供養と初盆の供養として行われている。

所 静岡県浜松市中区鹿谷町25-10(犀ヶ崖公園)
時 毎年 7月 15日



天宮神社の十二段舞楽

平安末期〜鎌倉初期に伝えられ、江戸時代から一宮大祓宣の鈴木左近家が代々舞楽師匠方として、明治以降は氏子有志が楽人兼師匠方として努めるようになりました。十二の舞から構成され、国の重要無形民俗文化財に指定されています。例大祭で、舞が奉納されます。

所 静岡県周智郡森町天宮576
時 毎年 4月 第1土・日曜日
土曜午後4時〜9時
日曜午後4時〜10時



山名神社の天王祭舞楽

小國・天宮神社の十二段舞楽とあわせ国の重要無形民俗文化財に指定されている天王祭の八段舞楽。蟻螂(カマキリ)の舞は昆虫のかぶりものをつけて舞う全国的にも貴重な舞。

所 静岡県周智郡森町飯田2590
時 1月 17日に近い土・日曜日



掛塚まつり(貴船神社例祭)

磐田市掛塚で、毎年10月に行われる貴船神社例祭には、御輿渡御や浦安の舞が行われ、9ヶ町より豪華絢爛な屋台曳き廻しが行われる。

所 静岡県磐田市掛塚
時 10月 第3土・日曜日

平野部の祭

横尾歌舞伎

県指定無形民俗文化財。

横尾・白岩地区に江戸時代より連綿と伝えられ、毎年公演されている農村歌舞伎。

📍 静岡県浜松市北区引佐町横尾、白岩

🕒 10月第2土・日曜日

☎ 053-542-1111

🌐 <http://www.puppet-inasa.jp/kabuki/index.html>



歌舞伎

【大鹿歌舞伎】230年余伝承される地芝居で定期公演は神社の回り舞台上で演じられる。

国選択無形民俗文化財。

【下條歌舞伎】村の伝統芸能として300年近い歴史を持ち、無形民俗文化財に指定されている。

明治期に、若い愛好者によって各地区に広まり競って上演されたり、他町村にも招かれ名声を高めた。

【平谷歌舞伎】街道の宿場町として栄える中で、江戸時代に村の若衆たちが旅芸人から学び、地芝居として定着したとされる「平谷歌舞伎」は、現在でも「珍珍幕府～秋の陣」で上演され、大変好評。



大鹿歌舞伎 📍 長野県下伊那郡大鹿村大河原・鹿塩 🕒 毎年5月3日・10月第3日曜日

下條歌舞伎 📍 長野県下伊那郡下條村 🕒 毎年11月下旬 🌐 http://www.ii-s.org/kankou/logs/post_4.html

平谷歌舞伎 📍 長野県下伊那郡平谷村 🕒 毎年10月下旬

人形浄瑠璃

伊那谷には人形浄瑠璃四座(今田、早稲田、古田、黒田)がある。このうち今田座・黒田座の二座が、約三百年の間、飯田市の地元保存会にて伝統芸を継承している。

【今田人形浄瑠璃】約300年前から伝わる人形芝居。宝永元年(1704年)、氏神様(大宮八幡社)のお祭りを賑やかにするために操り始めた人形浄瑠璃。現在、地元の保存会により伝承されている。国の選択無形民俗文化財に指定されている。

📍 長野県飯田市龍江3710-3 今田人形座事務局(木下) 🕒 10月中旬

☎ 0265-27-2128 🌐 <http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/puppet/imada/>



【黒田人形浄瑠璃】浄瑠璃を語る「太夫」と伴奏をする「三味線」、人形を操る「人形遣い」の三業で演じる人形劇。天保11年に建てられた人形浄瑠璃専門の舞台上、毎年奉納上演が行われる。人形浄瑠璃・専用舞台ともに国の重要有形民族文化財に指定されている。

📍 長野県飯田市上郷飯沼3145 飯田市上郷公民館(事務局)

🕒 4月第2土曜日・日曜日

☎ 0265-24-7744

🌐 <http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/puppet/kuroda/>



篠原の火渡り

毎年1月18日、遠州・三河・信州の各地から修行僧が集り火伏せの行が行われます。立ち上がる炎の中、参加者が次々と護摩壇を渡って一年の願をかけます。

📍 静岡県西区篠原町3897-2(保泉寺)

🕒 毎年1月18日

☎ 053-448-3733



飯田お練りまつり

大宮諏訪神社の式年祭礼に合わせて7年に1度行われ、大勢の人がまちをねり歩くことからそう呼ばれるお祭りです。大名行列や東野の大獅子舞など、伝統を受け継いだ出し物は豪華絢爛なとも賑やかで、見ごたえたっぷりです。

📍 長野県飯田市 🕒 申寅の年3月下旬

☎ 0265-24-1234 🌐 <http://oneri.iidacci.org/>



見付天神裸祭

毎年旧暦8月10日の直前の土、日曜日にかけて行われる国指定重要無形民俗文化財。サラシと腰蓑(こしみの)を身に付けた裸姿の男達が乱舞することから、「裸祭」と呼ばれています。

📍 静岡県磐田市見付

🕒 旧暦8月10日の直前の土・日曜日

🌐 <http://hadakamatsuri.jp/>

三遠南信の三つの地域を一体化するトライアングル構想では、三遠南信道は国道152号の遠山谷を經由することとなった。それに危機感を抱いた南信の阿南町が中心となり、豊橋から飯田を結ぶ国道151号沿線の活性化に動き出した。幸いこの沿線には伝統芸能や祭り、文化が数多くあったため、平成11年当時の建設省の支援のもと「祭

祭り街道

り街道」と命名。全街道に広げようと粘り強い運動を展開してきた。東栄町や豊根村の花祭り、和合の念仏踊り、早稲田の人形芝居など郷土色溢れる行事が目白押し。平成21年9月には祭り街道制定10周年イベントが盛大に行われた。

今、新たな観光地としての期待は大きい。

festival highway

標高差 3,000mの 多様性

三遠南信には、登山やスキーが楽しめる中央アルプスや南アルプスがあり、太平洋沿岸では、釣りやサーフィンなどのマリンスポーツが楽しめます。海拔ゼロメートルから3,000メートルの標高差の中に、変化に富んだ気候や地形があり、豊かな自然環境や風土に由来する様々な食・技・暮らしが存在します。

標高差を活かした山上げ農業

三遠南信地域には、温度が摂氏5度以下の状態が47時間以上続くと、花になる芽をつけるという花卉の特性を利用した農法があります。低地で植えた植物を、標高の高い寒冷地に移動して花芽の分化を促し、再び平地に移して収穫するというこの農法は「山上げ農業」と呼ばれています。

中央アルプスと南アルプスに挟まれ、天竜川がその間を流れる南信州地域では、高地を利用して古くから洋蘭の山上げ農業が行われていました。夏の高温時期に、花芽のついた洋蘭の株を、渥美半島から根羽村や売木村などの高冷地に移して開花を早め、他の地域よりも早い時期に出荷することで、販売効果を高めています。

一方、南信州の飯田市のすぐ北、高森町では今から11年前に遠州からミカンの栽培技術が伝わり、寒い信州で、みごとミカンのハウス栽培

(鉢植えと地植え)に成功しています。この地域は遠州よりも約二ヶ月早く冬が到来しますが、この寒さのおかげで花芽の分化が早まり他地域よりも早く実を結ぶことから、糖度の高いミカンを出荷することができます。

また、南信州の寒さを逆手にとった洋蘭の山上げやミカン栽培以外に、ほおずき栽培なども行われており、標高差3,000mを活かしたこの地域の農業は、三遠南信地域の特色の一つとなっています。



洋蘭の山上げ

渥美地方の田原の洋蘭は、夏の間、南信州地域で育てられます。夏の間、標高が高い山村にある休耕地を借りて、洋蘭をトラックに載せて運びます。夏の一時、この地域では鉢植えの洋蘭が並べられた姿を見ることができます。

標高差3,000mの多様性

三遠南信 の

技

歴史を伝える
伝統工芸



阿島傘 旅人から伝授され継承される南信州喬木村の工芸美

江戸初期旅人を看病した謝礼に伝授された。隆盛時160戸、年30万本作られたこともあるが、現在継承者は僅か1戸。阿島傘伝承館で、体験教室が開かれている。



遠州綿紬 現代人も唸らせるハイセンスな先人のデザイン力
江戸時代から織り始められた遠州綿紬は、浜松繊維デザインのルーツ。日本の四季から生まれた温かみのある“日本色”と柔らかな質感が特徴。



豊橋筆 墨をよく吸い、墨はけが遅く、墨になじみ滑るような書き味
全国に高いシェアを誇り経済産業省が指定する伝統的工芸品。長い歴史の中で培われた伝統的な技術・技法を受け継いだ、手作りによる優秀品。



森山焼 閑静な森山の麓に遺る窯元が生み出す伝統の芸術

明治42年、中村秀吉氏によって創始された静岡県下最大の窯場。小堀遠州七窯のひとつである志戸呂焼きの流れをくみ、各陶房がそれぞれに創作した作風は民芸品から芸術品へと高められた。

ざざんざ織り

ざざんざは「颯々」とも書き、松風の音を表現したもの。足利將軍義教が松の木の下で「浜松の音はざざんざ」と詠んだ。



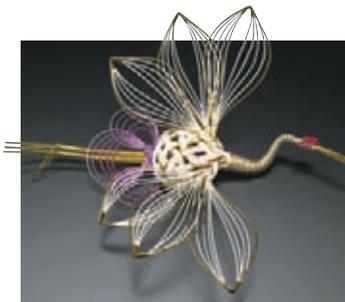
鳳来寺硯 鳳来寺の表参道で今なお作り続けられる伝統の技

鳳来寺山で採れた、金鳳石・鳳鳴石・煙巖石で作られた硯。鳳来寺硯の歴史は古く、1300年ほど前に鳳来寺山の開祖である利修仙人のころから作られたものと伝えられている。



森の武家風

江戸時代、時の藩主「土屋佐渡の守」の嫡子の祝いに風を揚げたことに由来すると伝えられる。



水引

飯田水引は、祝儀の折に用いられる金封飾りや結納飾りとして知られる伝統工芸品。和紙を素材とし、摺って色染めしたもの。長野冬季パラリンピックでは水引で作った月桂冠が勝者に授与された。

飾り馬

殿様の白馬を模して作られた蒲郡の民芸品。古くから子供の健康を願う贈り物として知られている。



標高差3,000mの多様性

山・川・海が織り成す 三遠南信食材御膳



自然薯「夢とろろ」

最上級ブランドの自然薯。粘りが強く、香りや味にすぐれていて、疲労回復などの健康食とも言われています。

大あさり

伊良湖観光の名物グルメ。一度食したらもう一度食べてみたい一品。磯の香りと醤油の香ばしさに満ちた焼きたてを味わうのがおすすめ。



天狗なす

愛知の伝統野菜に指定された普通のなすの約5~10倍の大きさ。やわらかくて美味しくユニークな茄子です。

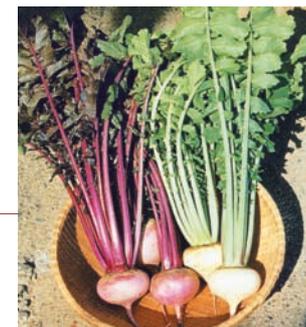
ていざなす

7月~11月まで収穫でき、大きいものは1kgにもなります。大きくても種が小さく、実が柔らかくて甘味が強いのが特徴。1本の木から10本ほどしか採れない希少野菜。焼きナスがオススメ！



親田辛味大根

蕪のような扁平の球形をしており、とても辛く、そばの薬味に最適。青首大根に比べ、辛味成分イソチオシアネートを4倍近く含んでいます。



篠原のたまねぎ

新年早々、日本一早く出荷する「白たまねぎ」。



甘々娘(トウモロコシ)

森町メロンに匹敵する18度の糖度が自慢のトウモロコシ。

浜名湖ドーマン(蟹)

ワタリガニの仲間。高級食材であり、浜名湖は多く漁獲される地域の北限。旬は夏。浜名湖では甲羅が丸いので「甲丸」、胴が丸いので「胴丸」とも呼ばれ、「胴丸」がなまって「ドーマン」とよばれるようになりました。



エシヤレット

真珠のように白く光沢のある美しさが特徴です。



三方原馬鈴薯

浜名市北區三方原町三方原台地の赤土が育む馬鈴薯の王様。

標高差3,000mの多様性

素材を活かして 三遠南信逸品館

奥三河 鳳来特産
梅づけ・梅ジャム

奥三河 鳳来特産
梅うどん

爽やかな酸味と香りが楽しめる
鳳来産の梅を用いた食品数々。



うずらプリン

うずらの卵を使って作ったプリンです。
豊橋は鶉(うずら)の卵の生産額
日本一です。



青島みかんゼリー
三ヶ日産の青島みかんを、
そのままゼリーにしたフ
レッシュで贅沢なデザー
トです。

手作りあおしまくん
三ヶ日産の青島みかんの中から、
大粒なみかんを使い、そのまま瓶
詰にしたものです。丁寧な手作業
でつくられています。

みかんペースト
ミカンを搾るのではなく、
消化分解酵素を使って、皮
までまるごと「溶かす」こ
とでペーストにしました。

ドイツパン・クーヘン
豊根産ブルーベリーの天然酵母
で作った珍しいパンもあります。
※その他、豊根産の金山味噌を使ったパンもあります。



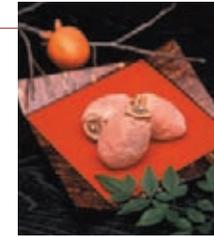
ブルーベリージャム



ブルーベリー
県内随一の規模
を誇っています。



コーンスープ
濃厚なコーンスープ、
カレーも開発されて
いるが、希少価値が
高く村内以外には流
通していません。



市田柿
もっちりした食感と口に
広がる上品な甘さは、市
田柿ならではの。ビタミン、
ミネラル、ポリフェノール、
食物繊維などの栄養
素も豊富で健康食品とし
ても注目されています。

柿すだれ (イメージ写真)
南信州は名物「市田柿」発祥の地。農家の軒下
に吊るされた柿すだれは、秋の風物詩となっ
ています。
※現在出荷されるものは食品衛生上、軒ではなく屋内で吊られて
います。



ゆずチョコレート
風味豊かな南信州泰阜村産柚の
ピールをベルギー産チョコレ
ートでコーティング。ほろ苦いゆ
ずの味と香りが大人に大人気。

ゆず果汁
天龍村のゆずを搾った果汁100
%。焼き魚にかけたり、お鍋の
たれに加えたり、お菓子や紅茶
の香りづけにも良いです。

ゆべし
新鮮な柚をまるごとくりぬいた中に、ごま、
くるみ、みそ等をつけて蒸しあげた純自然
健康食品。長野県選択無形民俗文化財に指
定されています。

鮎のしぶうるか
水のきれいな川の苔を食べて育つ鮎は、
川の香りがするため香魚とも言われま
す。その鮎の内臓を塩漬けにして作っ
たうるかは日本酒の肴として、又料理
の隠し味として幅広く使われています。

鮎の子うるか
内臓で作るうるか
に対し、卵と白子
を塩漬けにした珍
味です。

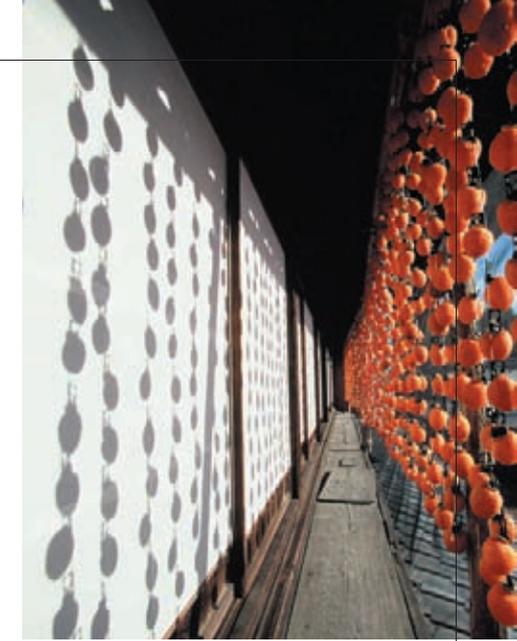


愛知県

三ヶ日みかん
全国に名をほせる
にふさわしい名品。

静岡県

長野県





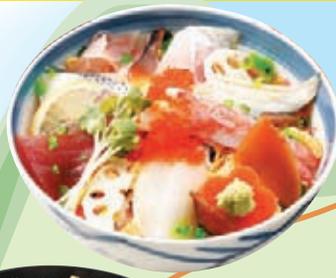
東三河 絶妙ハーモニー♪

東栄 五平オープンサンド

東海テレビ放送「びーかんテレビ」の特集「東海三県対抗！ 貝だくサンドイッチ選手権」で優勝した東栄町の主婦グループ、三健会が考案した東栄町の新名物。東栄町で採れた野菜と東栄チキン、五平餅のお米と味噌の素敵な組み合わせ！

渥美半島の特産品を使った特製どんぶりがいっぱい！

東三河 田原 どんぶり街道
渥美半島の国道42号・259号に沿うように、21のお店がそれぞれの技とアイデアを結集したどんぶりを提供しています。「どんぶり街道スタンプラリー」は、観光も楽しみながら、地元の自慢丼が食べられます。



渥美半島 どんぶり街道

259

42

東三河 いなり寿司発祥の地

豊川 いなり寿司

豊川稲荷の門前はいなり寿司発祥の地といわれており、オーソドックスなタイプから、アイデア勝負の創作いなりまでさまざまです。現在市を挙げてブランド化に取り組んでいます。



標高差3,000mの多様性

うまいもんめっけ

三遠南信 B級 グルメ 選手権

遠州 ワンコインワンバンド

御前崎 波乗りバーガー

御前崎港で捕れたシイラ（マヒマヒ）を使い、市内10店舗がそれぞれ工夫を凝らして提供しています。



遠州 袋井 B級グルメ！

袋井 袋井宿たまごふわふわ

江戸時代、袋井宿で旅人に供されたもてなし料理です。新撰組局長「近藤 勇」がこよなく愛したといわれるこの「たまごふわふわ」を、数百年のときを経て再現しました。



南信州 松川 ごぼとん丼
ごぼうと黒豚が合うんです！
おいしくて、たっぷりのコラーゲンと、たっぷりの繊維質がうれしいご当地どんぶりです。7つのお店でそれぞれの味が楽しめます。



駒ヶ根ソースかつ丼会 認定ソース

南信州 駒ヶ根の名物と言えばこれ！
駒ヶ根 駒ヶ根ソースかつ丼
ご飯の上にキャベツの千切りと特製ソースにくぐらせたとんかつがのったかつ丼。



南信州の山々（冬の中央アルプス）
中央アルプスと南アルプスにはさまれ、いくつもの山が連なる自然豊かな土地、南信州。霊山である主峰木曾駒ヶ岳には多くの伝説や歴史が残ります。

とっておきの 三遠南信

三遠南信の豊かな自然やその土地ならではの楽しいイベント、見所、おいしいものをご紹介します！

乳岩
乳岩山にある最大の洞窟で、凝灰岩中に含まれる石灰分が溶け出して天井部に乳房状の鍾乳石を作っています。山頂近くには、通天橋・極楽門と呼ばれる天然石橋があります。

中田島砂丘

夏にかけては産卵のためにアカウミガメが上陸し、卵は孵化して放流されるまで保護されています。

東三河 の巻



しんしろ軽トラ市「のんほいルロット」

江戸中期、新城市は豊川の舟運と伊那街道を行きかう陸運(馬)との交易拠点として栄えました。その賑わいぶりは、往来する馬が浪にたとえられ「山湊馬浪(さんそうばろう)」と呼ばれるほどでした。「のんほい」は「やあ」「おい」「ねえ」など呼びかける時に使う東三河の方言、「ルロット」はタヒチ名物の車を使った屋台村のことです。

☎0536-22-1778 ◎<http://www.shinshiro.or.jp/nonhoi.routottes/>

☞愛知県新城市中央通り商店街(橋向交差点～中町交差点) ⌚毎月第4日曜日/9:00～12:30 ④入場無料

ラグーナ蒲郡

自然豊かな三河湾に位置する「ラグーナ蒲郡」は、エンターテインメントやグルメ&ショッピングなどさまざまなスタイルで海を楽しむことができる複合型リゾートです。



☎0533-58-2700 ◎<http://www.laguna-gamagori.co.jp/>

☞愛知県蒲郡市海陽町2-1 ⌚Ⓜ️ホームページをご覧ください。

桜淵公園周辺

春は桜が清流の両岸に爛漫と咲き乱れ、夏の緑、秋の紅葉が調和して、四季それぞれの風情を満喫させてくれます。毎年、お花見や川遊びなどで、沢山の人が訪れます。



☎0536-32-0022

☞愛知県新城市庭野 ⌚終日 ④無料

必見！ イベント

長篠の戦い(長篠城址史跡保存館)

長篠城址史跡保存館は、「日本100名城」に数えられる「長篠城」の城址(国指定史跡)にあり、日本戦史を彩る「長篠の攻防」に関する資料を保存・展示しています。

☎0536-32-0162 ☞愛知県新城市長篠字市場22-1

⌚午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで) 毎週火曜定休(祝日の際は翌日)

④小・中学生 個人100円 団体50円 高校生以上 個人210円 団体160円

設楽原歴史資料館

「長篠・設楽原の戦い」の経緯、火縄銃の果たした役割・その歴史を展示しています。

☎0536-22-0673

☞愛知県新城市竹広字信玄原552

⌚午前9時から午後5時 (入館は午後4時30分まで) 毎週火曜定休(祝日の際は翌日)

④小・中学生 個人100円 団体50円 高校生以上 個人300円 団体200円



セットでまわると少しお得なチケットあります。

歴史散策、史跡めぐりの際は是非両方に。

知られざる
三遠南信の
魅力
【自然・文化・商業・イベント】

東三河
の巻



チェーンソーアート

1本の丸太からチェーンソーを駆使し、ダイナミックかつスピーディーに繊細な作品を作り上げる様子は「チェーンソーを使った彫刻」といえます。やり直しがきかない一発勝負のアートは、見ごたえがあります。

☎0536-76-1199 ☑http://orange.zero.jp/chainsawart/
📍愛知県北設楽郡東栄町内



アサクラスマートボール

豊橋駅前にあり、看板からは昭和30年代の香りが漂い出てくるようです。昔の温泉地にはよくあった遊びでしたが、最近では大阪の新世界など一部の地域でしか見られなくなってしまうました。

☎0532-55-6733
📍愛知県豊橋市松葉町1-22
🕒10:00～21:00 不定休



電照菊

闇夜に浮かび上がる電照菊の温室群は幻想的で、まさに不夜城といった趣です。愛知県で始まった電照栽培により、菊の開花時期を調整することができるようになり、周年出荷が可能となりました。愛知県は全国の約3分の1の出荷量を誇る菊の大産地となっています。(見頃は10月上旬から12月上旬)

📍愛知県田原市内 🕒夜間にハウスの照明が見られる 🆓無料



へボサミット

奥三河地方には、へボと呼ばれるクロスズメバチなど地蜂の子や蛹を食べる食文化があります。へボサミットは年に1回愛好家が集まり巣の重さなどを競うユニークなイベントです。

新城市では10月、設楽町と東栄町では11月に開催されます。



奥三河食彩フェスタ

奥三河の食をテーマに、旧名倉中学校跡地で開催されます。とれたて農作物や特産品の直売コーナー、地域の伝統食や設楽ならではの味を気軽に楽しめる屋台がオープン！様々な体験コーナーやイベントなど楽しい催しも盛り沢山！高原で過ごす、心地よい夏の1日が楽しめます。

☎0536-63-2006 ☑http://tabemai.com/
📍愛知県北設楽郡設楽町東納庫字ヲトシ山 🆓入場無料



いのしし肉

臭い、硬いなどの固定概念を破る奥三河特産の猪肉。古くから「山鯨」と称され滋養強壯の食材として珍重されてきました。ばたん鍋やウィンナーがおすすめです。



とまテル

「田原産だけに限定したミディマト100%のトマト果汁」に「国産梅100%の梅酒」を加えて、最後にパッションフルーツ果汁で仕上げたトマトカクテル。

めろんハート

マスクメロンのネクター感を残しながら、パッションフルーツの爽やかな酸味をマッチングさせた、まるでフレッシュな果実をそのまま食べているような感覚のメロンリキュールです。

☎0531-22-6551 ☑http://www.mimasa-831.jp/market/
📍田原市浦町丸山1-41 🆓田原市内の道の駅と通販で購入可能



蒲郡(温室)みかん

蒲郡温室みかんは、品種を宮川早生に統一し、高い糖度と程よい酸味を兼ね備えたみかんの中のみかんです。特許庁が認可する地域団体商標(地域ブランド)に、「蒲郡みかん」が県内農産物で初めて登録されました。

☎0533-68-6631 ☑http://www.ja-gamagori.or.jp/



「極・奥三河」は、シニアを対象とした地域体験・職業体験プログラムです。奥三河を知り尽くし、技を極めた名人たちがナビゲートしますので、魅力満載の奥三河に、ぜひ遊びに来てください！

☎平成22年度プログラムは、夏から秋にかけて開催する予定です。

お問い合わせ先

東三河広域協議会事務局(豊橋市役所広域推進課内)
☎0532-51-2181

「極・奥三河」ホームページ
http://www.east-mikawa.jp/kiwami/

※ホームページ上では、平成21年度プログラムの様子を映像にて紹介しています。ぜひご覧ください。



たきや漁

春から秋にかけて夜の浜名湖で、水中灯を舳先にともし、鉾や網でカニやさかな、エビを獲るスリルある楽しい漁です。獲れたての新鮮な魚介類をつかったの料理は最高。

☎ 053-592-2260
 Ⓜ <http://www.takiyaryou.jp/>
 所 静岡県浜松市西区雄踏町宇布見9985-3
 料 要予約。料金等はホームページをご覧ください。

山肉料理

浜松市天竜区水窪町

地元で獲れた猪、鹿などの料理。お店により食べ方やタレの味が違うので、それぞれの味わいを楽しむものをお薦めです。



遠州灘天然とらふぐ

浜松市西区 舞阪漁港

冬になったら一度は食べたい海の味覚の王様。「天然ものの内約6割が遠州灘」といわれるほどの漁場。館山寺温泉ではとらふぐ祭りも開催されます。



「ヨコスカルラム」
 「ヨコスカルラム」から生まれたお酒

よこすかしろ

掛川市

地場の砂糖キビを昔ながらの手順で絞り、糖液を長時間煮詰めて造られます。白砂糖に比べ、たんぱく質やカルシウム、鉄分、カリウムなどの栄養素が豊富です。



池田・熊野の長藤まつり

平安時代の女流歌人熊野御前の愛でた藤が行興寺に残っています。「藤の花」の開花にあわせ行興寺に隣接する熊野伝統芸能館と、その周辺で開催されます。

所 静岡県磐田市池田 時 4月下旬～5月5日

東海道どまん中茶屋

初代広重が描いた「東海道五十三次・袋井出茶屋ノ図」をモチーフに袋井宿の東入口に建てられました。年中無休で湯茶のおもてなしが受けられます。

☎ 0538-44-8595
 所 静岡県袋井市袋井339
 時 9:00～17:00



重要文化財中村家住宅

重厚な武家住宅を体感できる徳川家康次男結城秀康の生家。3000平米の敷地内には、重要文化財に指定された主屋、長屋門、主屋脇の於義丸(後の結城秀康)の胞衣(えな=後産)を埋めた胞衣塚が残されています。

☎ 053-596-5585
 所 静岡県浜松市西区雄踏町宇布見4912-1
 時 9:30～16:30(金・土・日・祝日のみ開館)
 料 高校生以上：200円／中学生以下：無料

知られざる
 三遠南信の
 魅力
 【自然・文化・商業・イベント】

町並みと蔵展

秋葉街道の町並みを残す中心市街地の古い木造建築や蔵がギャラリーなどとして開放されます。毎年、春・秋の2回開催され、人力車による町並み散歩も好評のイベントとなっています。

所 静岡県周智郡森町



治郎柿

今より160年前森町に住む松本治郎さんが太田川の洪水で流れついた柿の幼木を植えたのが始まりと言われる治郎柿。原木の地からは毎年、皇室へ献上も行われています。

所 静岡県周智郡森町



御前崎ケープパーク

テーマは「海と大地の調和」。御前崎灯台から展望台「夕日と風がみえるん台」まで徒歩約10分、1.5kmにおよぶロマンチックな遊歩道からは、展望台、広場、四季折々の草花と雄大な海が楽しめます。御前崎ケープパーク内にある『潮騒の像』は「恋人の聖地」として認定されています。遊歩道のほか周辺のドライブも人気です。

所 静岡県御前崎市御前崎 時 終日 料 無料



掛川花鳥園

花の中で鳥と遊べるテーマパーク。さまざまな植物、熱帯性スイレンが一年中咲き誇る中で、インコ、フクロウ、オオハシなどの鳥とふれあえます。

所 0537-62-6363 所 http://www.kamoldt.co.jp/kke/ 静岡県掛川市南西郷1517 料 料金等はホームページをご覧ください。

遠州灘海岸のアカウミガメ

毎年5月下旬から8月にかけて産卵のためにウミガメが上陸します。



南信州の巻



名勝天龍峡

江戸時代以来多くの文化人らに愛された名勝です。川下りの舟からは奇岩怪岩が望め、春のツツジや山ザクラ、秋の紅葉、冬の雪景色など四季それぞれに美しい自然を満喫できます。遊歩道散策、川下り、いろんな角度から圧倒的な景観をお楽しみください。

所 長野県飯田市 所 天龍峡観光案内所 所 0265-27-2946 所 http://www.tenryukyou.com/



大明神淵 ポットホール

日本一のポットホールを有する三段の淵からなる明神淵。平成16年、村内のアマチュア写真家によって発見されました。

所 長野県下伊那郡豊丘村

しらびそ高原

標高約1,900mの高原にある南アルプスの大パノラマ。「ハイランドしらびそ」からの眺めもよく3,000m級の山々を間近に感じることができます。近くには日本で初めて確認された「御池山隕石クレーター」があります。

所 長野県飯田市上村 所 上村自治振興センター 所 0260-36-2211 所 http://shirabiso.com/



茶臼山高原

春夏秋冬、美しい自然の魅力にあふれた場所です。また動物とのふれあい、四季折々のイベント、雄大なアルプスの眺望など、家族みんなで楽しめます。

所 長野県下伊那郡根羽村茶臼山



知られざる魅力
三遠南信の魅力
【自然・文化・商業・イベント】

飯田市川本喜八郎人形美術館

高い芸術性を備えた人形アニメーションを生み出し、NHK人形劇「三国志」などで多くのファンを魅了した人形美術家・川本喜八郎が「人形たちに一番ふさわしい場所」と、「三国志」「平家物語」などの人形を飯田市へ寄贈しました。飯田市は「人形劇のまち」の新たな拠点施設として、交流人口の創出や人形劇文化の振興を目的とした美術館を建設。2007年3月に開館して川本氏は館長に就任しました。

☎ 0265-23-3594 🌐 <http://www.city.iida.lg.jp/kawamoto/> 📍 長野県飯田市
🕒 9:30 ~ 18:30 (入館は18:00まで) / 毎週水曜休館
🎫 [一般] 個人 400円 団体 300円 / [小学生・中学生・高校生] 個人 200円 団体 150円



(C)川本プロダクション/撮影・田村 実



南信州グルメサミット

南信州は豊かな自然と数多くの食材に恵まれ、様々な食の文化が発達しています。これらの味を多くの方に知っていただくチャンスを開きたいと思いサミットを開催しています。馬、イノシシ、鹿、普段あまり食べる機会のない食材も多数あり、新たな調理法など、発見も多数！蜂の子、ザザムシなどは話のネタや変わったお土産にもなりそうです。

📍 長野県飯田市 🏢 飯田商工会議所
☎ 0265-24-1234 🌐 <http://www.iidacci.or.jp/>

鹿塩の塩泉

なぜ、山深いアルプスの麓に海水のように塩辛い温泉が湧くのか、その原因は未だに謎に包まれたままです。鹿塩温泉入口の特産品販売所『塩の里』ではこのロマン溢れる塩泉から昔ながらの手法で山塩を作っており、山塩作りを実際に見ていただくこともできます。山塩はミネラル分が豊富で、なめてもしょっぱさに角がありません。この塩で熱々のおにぎりを握ると絶品です。

☎ 0265-39-2282 🌐 http://www.2bbweb-arena.com/escude/myweb1_001.htm
📍 長野県下伊那郡大鹿村鹿塩 🕒 9:00 ~ 17:00 / 火曜定休
🎫 鹿塩温泉の「山塩」: 50g入り 525円 25g入り = 270円



ほおずき栽培

飯田市南信濃

遠山郷の夏の風物詩。お盆のお供え花として主に中京圏方面へ出荷されます。みなみ信州産ほおずきは、15年ほど前に導入され栽培されるようになったものです。今では100名の生産者が取り組んでおり、その品質の良さは、市場での評価も高くなっています。



五平餅

南信州地域

ご飯を多少粒が残る程度につぶしたものをわらじ型もしくは団子型に成形し、串に刺して焼きます。味噌や醤油をベースに、胡桃や胡麻、山椒の芽などを加えたたれを付けて食べます。江戸時代の中頃、わらじ型の五平餅を、ふたつの団子状に刺した、いわゆる「眼鏡型」としたものが、飯田の五平餅として今に伝えられています。お店や家庭によって味が違うので、食べ比べも楽しいですね。



ねぎダレ

飯田市

信州飯田の居酒屋でおでんに使われたことが始まりといわれています。いつしか飯田の家庭では当たり前のように使用されるようになり「飯田の味」となりました。刻みねぎを醤油やみりんなどの調味料で味付けしただけのシンプルさゆえ、冷や奴、から揚げなど用途は広く、各家庭で食べ方はさまざまです。伝統ではなく、純粹な「味」で地域の味として根付いています。

半生菓子

南信州地域

かつて「信州の小京都」と呼ばれていた南信州では、お茶と和菓子の文化が伝えられてきました。四季折々の花々にみちたものや昔懐かしい素朴な味など、多彩な和菓子がそろっています。形や名前の由来、いわれ等を知ると、さらにおいしく感じられるかもしれませんね。

屋台獅子最中: 飯田市周辺には、屋台獅子が多く伝承されています。その獅子頭をモチーフとし、13の和菓子屋で共同開発した商品です。



観光インフォメーション お問い合わせ先

エリア	市町村名	組織/担当課	TEL	URL
東三河	1 豊橋市	豊橋観光コンベンション協会	0532-54-1484	http://www.honokuni.or.jp/toyohashi/
	2 豊川市	豊川市観光協会	0533-89-2206	http://www.toyokawa-map.net/
	3 蒲都市	蒲都市観光協会	0533-68-2526	http://www.gamagori.jp/
	4 新城市	新城市観光協会	0536-32-0022	http://shinshirokankou.com/
	5 田原市	田原市観光協会(商工観光課内)	0531-23-3516	http://www.taharakankou.gr.jp/
	6 設楽町	設楽町観光協会(産業課内)	0536-62-1000	http://www.sitarakankou.on.arena.ne.jp/
	7 東栄町	東栄町経済課	0536-76-1812	http://www.town.toei.aichi.jp/
	8 豊根村	豊根村観光協会	0536-87-2525	http://www.honokuni.or.jp/toyone/
遠州	9 浜松市	浜松市観光インフォメーションセンター	053-452-1634	http://hamamatsu-daisuki.net/
	10 磐田市	磐田市観光協会	0538-33-1222	http://kanko.iwatanet.com/
	11 袋井市	袋井市商工課	0538-44-3156	http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/
	12 湖西市	湖西市商工労政課	053-576-1230	http://www.city.kosai.shizuoka.jp/
	13 森町	森町観光協会(産業課内)	0538-85-6319	http://www.town.morimachi.shizuoka.jp/index.html
	14 掛川市	掛川観光案内所	0120-70-8080	http://www.wbs.ne.jp/bt/kakegawa/
	15 菊川市	菊川市商工観光課	0537-35-0937	http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/
	16 御前崎市	御前崎市観光協会	0548-63-2001	http://www.wbs.ne.jp/bt/omaezaki/
	17 牧之原市	牧之原市観光空港室	0548-53-2623	http://www.makinoharashi-kankouyokai.com/what.php
	南信州	18 飯田市	飯田観光協会	0265-22-4851
19 松川町		交流センターみらい	0265-34-7066	http://www.ch-you.ne.jp/users/mjsien/index.htm
20 高森町		高森町産業課	0265-35-9405	http://www.town.takamori.nagano.jp/
21 阿南町		阿南町振興課	0260-22-4053	http://www.town.anan.nagano.jp/
22 阿智村		阿智村地域経営課	0265-43-2220	http://www.vill.achi.nagano.jp/
23 平谷村		平谷村観光協会(産業建設課内)	0265-48-2211	http://www.pikan.net/
24 根羽村		根羽村振興課	0265-49-2111	http://www.nebamura.jp/
25 下條村		下條村振興課	0265-27-2311	http://www.vill.shimojo.jp/
26 売木村		売木村産業課	0260-28-2311	http://www.urugi.jp/
27 天龍村		天龍村振興課	0260-32-2001	http://www.vill.tenryu.jp/
28 泰阜村		泰阜村振興課	0260-26-2111	http://www.vill.yasuoka.nagano.jp/
29 喬木村		喬木村ふるさと振興課	0265-33-2001	http://www.vill.takagi.nagano.jp/
30 豊丘村	交流センターだいち	0265-34-2520	http://www.vill-toyooka.jp/	
31 大鹿村	大鹿村産業建設課	0265-39-2001	http://www.vill.ooshika.nagano.jp/	
32 駒ヶ根市	一般社団法人 駒ヶ根観光協会	0265-81-7700	http://www.kankou-komagane.com/	

〈三遠南信エリア情報〉 <http://www.san-en-nanshin.jp/> / 〈穂の国〉 <http://www.honokuni.or.jp/> / 〈南信州ナビ〉 <http://www.ii-s.org/index.html>



世界につながる日本の中央回廊

三遠南信

250万流域都市圏の創造

三遠南信地域が 目指す姿

三遠南信地域は、人口約二百三十万人、豊かな地域資源や多様な自然環境、特色ある歴史・文化など、都道府県にも匹敵する大きなポテンシャルを有しています。

この三遠南信地域は、かつて河川や街道を介して盛んに行われた歴史があることから、古くからの結びつきが強く、現在でも県境を越えて、産業や文化・教育分野などで様々な地域連携や住民交流が行われています。

平成二十年三月には、道州制や国土形成計画など国の地域づくり制度の検討が進められるなか、地域住民をはじめ、大学、経済界、行政など圏域の発展を願う関係者の合意の下、地域振興の指針となる「三遠南信地域連携ビジョン」を策定しました。

この「三遠南信地域連携ビジョン」では、地域の将来像を「三遠南信二百五十万流域都市圏の創造」とし、三遠南信地域を一体的な都市圏として、行政、経済、住民活動など様々な分野の交流・連携を一層深め、自立性の高い確固たる圏域の形成を目指しています。

今後も三遠南信自動車道や新東名高速自動車道のインフラ整備などにより、地域連携の強化や住民交流の進展が期待される地域です。



三遠南信地域連携ビジョン推進会議のご紹介

三遠南信地域連携ビジョン推進会議(通称SENA)は、三遠南信地域の地域振興の指針である「三遠南信地域連携ビジョン」を推進するための組織として平成20年11月に立ち上げられました。

SENAは、三遠南信地域内の市町村、商工会議所・商工会等で構成されています。

これまでの主な取り組み

- 三遠南信サミットの開催(平成5年度から毎年開催)
- 三遠南信地域連携ビジョンの策定
- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)の発足
- 地域連携・交流事業の推進
- 三遠南信地域情報の受発信

今後の取り組み

- 道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
- 経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
- 市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
- 地域連携活動の相乗効果の発揮
- 県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)事務局

〒430-8652 静岡県浜松市中区元城町103-2 浜松市企画課内(本館5階) / TEL:053-457-2242 / FAX:053-457-2248
E-mail:sena@clear.ocn.ne.jp / SENA WEB SITE <http://www.sena-vision.jp/>